

施設見学会 開催報告

2024年9月21日(土)に施設見学会を開催させていただきました。
いつもお世話になっている企業や団体の皆様(計18名)にご参加いただき、満席での開催となりました。たくさんのご意見やご感想をいただき、ありがとうございました。
当日の開催内容や意見交換会でいただいたご意見について、ご報告させていただきます。

1. ケアリーパーの現状と課題

三光塾におけるケアリーパーの現状（過去10年の退所者29名を追跡調査）を報告させていただきました。大学等に進学して卒業した者や障がい者雇用でサポートを受けながら働く者は、比較的安定して就労を継続することができています。

しかし、高卒で就労した者、大学等に進学後中退した者の中では就労を継続している者は14名中2名という厳しい結果です。

どのケアリーパーも三光塾とは繋がり続け、支援を継続していることは大きな強みではありますが、職員の就労支援のスキルもまだまだ不足しています。皆様にもご支援をいただきながら、ケアリーパーに「社会と繋がっていく経験」をしてほしいという思いを持っていることをお伝えさせていただきました。施設で育っても、過去にしんどいことがたくさんあっても、未来は明るくあってほしい、社会の中で居場所を作って、自分らしく生き生きとした生活を送ってほしいと願って、支援をしています。

2. ご意見・ご感想

- ・ 若手が不足している業種もたくさんある。この仕事が合うのか合わないのかを経験してもらえ
るいい機会かもしれない。メンタル面のケアは難しいが、そこを企業と三光塾でサポートして
いけるのなら、継続していけるのかもしれない。
- ・ 企業側も「こんな体験ができる」というリストは提供できるかもしれない。
- ・ 求人システムのように、企業側がスカウティングするシステムがあってもいいかもしれない。
三光塾の子どものリスト（好きな業種や得意なこと等も記載）があれば…。
- ・ 現金の寄付はできないのか？→別途、記載させていただいております。
- ・ もう少し企業側に求めることを明らかにしても良いと感じた。
- ・ 大きな社会問題に取り組めた場だと感じた。
- ・ 子どもたちの仕事への関心につながる大切さが理解できました。
- ・ 引き続き経済的な支援や生活物資の寄付をしたいと思います。
- ・ 三光塾の実情がよくわかりました。支援できることを検討したいと思います。

3. まとめ

ご参加いただいた皆様に、たくさん温かいご意見をいただき、とても貴重な時間となりました。三光塾が今後進めていきたい支援への思いが、直接皆様からご意見をいただくことで、より具体的になったと感じています。

再度三光塾でも協議をし、三光塾がお願いしたいケアリーパーへの支援を別紙にまとめさせていただきました。

ぜひ、目を通していただき、引き続きご支援をいただくと幸いです。

三光塾からのお願い

三光塾から「皆さまにご支援いただきたいこと」を検討し、まとめさせていただきました。厚かましいお願いで大変恐縮ではございますが、ぜひ、目を通していただければ幸いです。

01 アルバイトのお誘い

三光塾の高校生年齢の子どもたちにとって、アルバイトの面接に申し込むこと自体、とてもハードルが高いのが現状です。長期的なアルバイトはもちろん、単発のイベント等のお声がけをいただくことも、働くきっかけとなり、とてもありがたいです。

「働くことができた」経験はとても大きな自信となるので、応援・ご理解していただける皆様のもとでアルバイトをさせていただけるとありがたいです。

別途、裏面に三光塾の子どもたちの紹介リストを掲載させていただいております。

02 就職の受け入れ

過去の経験から、就労に関して同年代と同じようにスタートを切ることが難しい、就職の継続や再就職が難しいケアリーバーが数多くいます。

三光塾の職員も、もちろん共にサポートしますので

三光塾と連携して就労の継続をサポートをしてくださる企業を探しています。

03 職業インターン体験の受け入れ

仕事のイメージがついていない子どもたちに、1日から可能なインターン体験をお願いしたいです。「仕事を知る」経験が、就労に対するハードルがぐっと下がる機会となり、就労のイメージ作りにもなるのではと考えています。

子どもによっては、プレッシャーから朝に動けない...等ご迷惑をおかけするかもしれません。

「またおいで」とチャンスをいただき、応援していただける支援者を探しています。

04 経済的なサポート

施設を出て社会で頑張るケアリーバーは、頼る先も少なく、経済的に苦しい者も多いです。

そういった場面で、地域の皆様や企業の皆様からのご寄付にいつも助けていただいております。引き続き、お力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

ご支援いただきたい物品の詳細については、下記のAmazon「みんなで応援」プログラムと、裏面にリストにして、掲載させていただいております。

Amazon「みんなで応援」プログラム

https://www.amazon.jp/hz/wishlist/lz/2ACIOPNDSRGK2?ref_=wl_share



①②③についてご検討していただける企業の皆様、全てのご支援に関するご質問は下記までご連絡ください。(担当：瀧野/出口)



0798-41-4421



info@sanko-jk.jp

ご支援いただきたいです



三光塾にはこんな子どもたちがいます！

名前	年齢	好きなこと、興味のあること、性格など
Aさん	23	アルバイトから段階を踏んで正社員の道を探しています。 コンビニや工場のアルバイト経験はありますが、ブランクもあり、働くことへの不安が大きいです。 室内での事務作業などに興味があります。穏やかな性格です。
Bさん	17	来年、短大に進学予定です。進学後も学業に支障がないよう調整できるアルバイトを探しています。 とても明るく元気な子で、事務作業より人と関わる方が向いているかもしれません。
Cさん	16	通信制高校に通っている高校2年生です。初めてのことに緊張が高く、アルバイトの経験はまだありません。 猫カフェなど、動物と関わることが好きです。単発のアルバイトなど、働くことへのハードルが下がるような働き方を探しています。
Dさん	16	公立高校に通う高校1年生です。部活動はしていませんが、通学が遠いため、学業との両立が可能なアルバイトを探しています。 他人を思いやれるとても優しい子です。 アルバイト経験がなく、不安も高いです。上述のCさんと一緒に単発のアルバイトからスタート…などはお互いにとても安心だと思います。
Eさん	16	通信制高校に通う高校1年生です。学校への緊張がとても高いので、まずは長期休みなどからアルバイトに挑戦したいと考えています。 とても礼儀正しく頼りがいのある子ですが、働くことへのハードルがとても高いので、単発のアルバイト等から挑戦してみたいです。

ご支援いただきたいです



現金の寄付は可能ですか？

三光塾は以前より「三光塾進路保障基金」として口座を保有し、退所者への寄付金を運用させていただいております。金銭的に困窮する退所者への貸付支援金として、今までのたくさんの退所者がこれを利用しております。

ご質問の回答としては、規定上、退所者への給付という目的で寄付金をいただくのは難しいのが現状ですが、「三光塾進路保障基金」にご寄付をいただくことは可能です。

また、来年度からは、貸付ではなく給付／退所者支援のために現金でのご寄付をして頂けるように、準備を進めております。

りそな銀行 西宮支店 普通預金 3292929
サンコウジュクシンロホショウキケン ダイヒョウ ソバガキカズヤ
口座名：三光塾進路保障基金 代表 側垣一也



こんなご寄付をいただけるとうれしいです！

一人暮らし家電	故障の際に買い替えも高額なため、困っているケアリーバーがたくさんいます。
商品券	緊急でなにか支援したいときに使わせていただきやすいです。
ベビーグッズ	出産して母となり頑張る者も増えてきています。そのときの状況にはよりますが、ベビーグッズは高額のため寄付はとてありがたいです。（ベビーフード等に関しては、月齢に合わせた希望商品を「Amazonみんなで応援プログラム」に掲載させていただいております。）
防災グッズ	ひとり暮らしの生活の中でもある程度の備えができるよう、退所者に贈りたいです。
お米	最近のお米の手に入りにくさもありますが、遠方在住のケアリーバーに物資を届ける際には、送りがやすく喜ばれます。
食料品	食料品や生活用品は日頃使うものでもあるので、とても喜ばれます。 遠方在住の退所者にも届けやすいです。 ケアリーバーの希望に合わせて、「Amazonみんなで応援プログラム」に掲載させていただいています。

Amazon「みんなで応援」プログラム

https://www.amazon.jp/hz/wishlist/lz/2ACIOPNDSRGK2?ref_=wl_share

